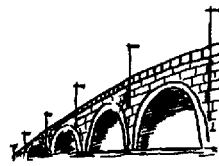


新
特

春
集

にいがた



市章



港のしるし鑑と中
央の五をもって、安
政5年通商条約に
より指定された五
港を意味し、これに雪環を頂かせて五港
のひとつ新潟をあらわす

発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 8550 編集 総務部広報課
学校町通1 602 1 印刷 (株)第一印刷所



**笑顔
はじけるまち**

子どもたちのほじける笑顔。
一人ひとりの夢を大切に育て、市民と行政が手を取り合って、安心して安全な暮らし
をつくっていきましょう。
子どもたちの明日のために、そしてわたしたちのために。
(鳥屋野総合体育館での親子の遊び広場 = 写真 =)

光を当てよう地域の宝



新潟市長
篠田 昭

明けましておめでとございます。2003年の年頭に当たって、新潟の明日に思いを寄せ、一言ごあいさつ申し上げます。

この冬もたくさん白鳥が新潟にやってきました。夕暮れ時、わが家の近くの鳥屋野潟に出かけ、餌をとって帰ってくる白鳥を眺めることがあります。編隊を組んで次々と着水する白鳥は野性的であり、自然に溶け込んで生きる姿は感動的です。

東京の知人が来ると冬の海にも連れていきます。わざわざ車から出て、激しい波しぶきを前に立ち尽くす人も少なくありません。

とかく「見るところがない」と嘆きがちの新潟ですが、本当にそうでしょうか。私は観光資源だけとつても、まだまだ地域に眠っている宝物が数多くあるように思います。

今度提唱させていただいた「にいがた地元学」は、地域の「あるもの探し」を進めるものです。観光面にとどまらず、地域の歴史や自然、うまい物、地場産業などを掘り起こし、人材を含めて地域の宝物に光を当てる取り組みです。

新潟はいま、近隣11市町村との合併を進めています。市域が大きくなる時期だからこそ、それぞれが暮らす地域を見つめ直し、地域を耕す取り組みが必要ではないでしょうか。新しい年、地域の宝物が数多く見つかることを期待しております。

平成15年元旦